

授業科目名 解剖生理学 I (基礎知識・消化器・運動器)	第一看護学科 1年次 前期 1単位 (30時間)
---------------------------------	--------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい 看護学の観点から、健康な人間を、人体の構造（解剖学）と機能（生理学）の側面から理解する。解剖生理学の基礎知識と消化器、骨格・筋の構造と機能を理解する。
目 標 1) 人体に備わる器官の構造と機能について知り、それらが一体となって人体を維持する活動を理解できる。 2) 人体を構成するための材料や、生命維持や活動の源となる栄養の消化と吸収に関与する消化器系の構造と機能を理解できる。 3) 人間らしい日常生活を営む活動について、身体を形づくり、保持する骨格とそれらを動かすための筋肉の構造と機能を理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考		
1	解剖生理学とは	講義	V T R		
2	消 化 器 系	講義			
3					食欲・食行動・咀嚼（口腔）
4					嚥下（咽頭・食道）
5					消化（胃）
6					消化吸収（肝臓）
7					消化吸収（胆嚢・肝臓・膵臓）
8					消化吸収（小腸）
9					消化吸収（大腸）、便意・排便行動
10	運 動 器 系	講義			
11					骨格とはどのようなものか
12					骨の連結・骨格筋
13					体幹の骨格と筋
14					上肢の骨格と筋
15					下肢の骨格と筋
16	頭頸部の骨格と筋				
17	筋の収縮				

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院
--

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 解剖生理学Ⅱ (呼吸器・循環器・電解質)	第一看護学科 1年次 前期 1単位(30時間)
-------------------------------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

<p>ねらい</p> <p>看護学の観点から、健康な人間を、人体の構造（解剖学）と機能（生理学）の側面から理解する。循環器、呼吸器の構造と機能、体液の調節について理解する。</p> <p>目 標</p> <p>1) 人体を構成する細胞の生命を支える、血液による輸送システムを担う循環器系の構造と機能を理解できる。</p> <p>2) 人間の生命維持や日常生活の活動のために不可欠な呼吸器の構造と機能を理解できる。</p> <p>3) 細胞の生命維持に不可欠な体液が、人体の内部環境の調整に働くしくみを理解できる。</p>
--

II. 授業計画

回	授 業 内 容		講義・演習	備考
1	呼 吸 器 系	気道の構造とはたらき（上気道）	講義	V T R
2		気道の構造とはたらき（下気道）		
3		肺の構造とはたらき		
4		呼吸運動のしくみ 肺の呼吸機能		
5		呼吸器量について		
6		ガス交換とガスの運搬 呼吸運動の調節		
7	電解質 /体温	体温調節機能 体液について		
8		酸塩基平衡		
9	循 環 器 系	肺循環・体循環・心臓の機能と構造	講義	
10		心臓の機能（冠状動脈）		
11		心臓の機能（刺激伝導系・心拍出量）		
12		心臓の機能（心周期・心音）		
13		血管の構造と機能（血管の構造・動脈）		
14		血管の機能（静脈・門脈・血圧）		
15		血管の機能（血圧の調節・循環器系の病態生理） リンパとリンパ管		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院
--

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名	解剖生理学Ⅲ (血液・腎・泌尿器・生殖器・内分泌)	第一看護学科 1年次 前期 1単位 (30時間)
-------	------------------------------	--------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい	看護学の観点から、健康な人間を、人体の構造（解剖学）と機能（生理学）の側面から理解する。血液・造血器の組成や腎・泌尿器、生殖器、内分泌器官の構造や機能を理解する。
目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 人体の生命活動を維持するための物質の輸送を担う血液の組成と機能と血液を産生する造血器の機能を理解できる。 2) 人体の構成成分の半分以上を占める体液のバランスの調節を担う腎・泌尿器の構造と機能を理解できる。 3) 次世代の個体を生み出して、種を維持する役目を担う生殖器の構造と機能を理解できる。 4) 生体内外の環境の変化に応じて様々な臓器の機能状態を変化させる働きを持つ内分泌器官の構造と調節機能を理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容		講義・演習	備考
1	血液	血球の組成と機能・赤血球	講義	V T R
2		白血球・血小板		
3		血漿タンパク質と赤血球沈降速度 血液の凝固と線維素溶解	講義	
4		血液型 生体防御機構		
5	腎臓	腎臓の構造と機能	講義	
6		腎臓の機能と酸塩基平衡		
7	泌尿器	泌尿器の構造と機能	講義	
8		男性生殖器の構造と機能		
9	生殖器	女性生殖器の構造と機能		
10				
11	内 分 泌	内分泌とホルモン ホルモン分泌の調節	講義	
12		甲状腺・副甲状腺のホルモン カルシウム代謝の調節		
13		副腎のホルモン		
14		性ホルモン 視床下部-下垂体系のホルモン		
15		膵臓のホルモンと糖代謝の調節 ストレスとホルモン		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院
--

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 解剖生理学Ⅳ (脳神経・感覚器)	第一看護学科 1年次 前期 1単位(30時間)
---------------------------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

<p>ねらい</p> <p>看護学の観点から、健康な人間を、人体の構造（解剖学）と機能（生理学）の側面から理解する。脳・神経、感覚器の構造と機能を理解する。</p> <p>目 標</p> <p>1) 身体各部の受容器から送られた情報の伝達経路や情報処理を行う脳・神経の構造と機能を理解できる。</p> <p>2) 生体内外の環境変化を察知しうる情報の検出を行う感覚器の構造と機能を理解できる。</p>
--

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	神経系の構造と機能	講義	
2	脊髄と脳		
3	大脳と脳室、髄膜について		
4	脊髄神経と脳神経		
5	脳の高次機能 脳波と睡眠		
6	大脳辺縁系 記憶		
7	中枢神経系の障害		
8	運動機能と下行伝導路		
9	感覚器とは、感覚機能と上行伝導路	講義	
10・11	視覚		
12・13	聴覚と平衡覚		
14	嗅覚、味覚		
15	皮膚感覚		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院
--

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 解剖生理学Ⅴ (人体形態機能理解演習)

第一看護学科
1年次 後期
1単位 (30時間)

I. 授業のねらい・目標

ねらい

解剖生理学Ⅰ～Ⅳの器官系統別とは異なる切り口として人間を統合体として捉え、「人体をめぐるもの」により人体形態機能を学ぶ。演習を通して、学生の主体的学習により学びを深め看護実践の基盤とする。

目標

- 1) 解剖生理学で既習した知識を活用し、人間の生命維持活動をつかさどる器官と統一体としての機能を生活者の視点から表現することができる。
- 2) 人体周囲を取り巻く外部環境の変化に対応するホメオスタシスの実現について、具体的な環境変化を想定した器官の働きの調整を論理的に表現することができる。

II. 授業計画

回	授業内容	講義・演習	備考
1		講義・演習	
2	1 血液をめぐるたんぱく質 (浸透圧)		
3	2 筋肉を増減するもの (血糖調節・血圧調節)		
4	3 骨を増減するもの (骨代謝・カルシウム代謝)		
5	4 食べて体内に取り入れるもの (吸収機能・代謝機能)		
6	① 三大栄養素		
6	② ビタミン・ミネラル (ビタミン代謝)		
7	5 免疫に関連するもの (免疫機能・ホルモン)		
8	6 トイレに行き、体外へ排出(排泄)するもの (運動機能・腎機能・解毒機能・消化器下部機能)		
9	7 呼吸するのに必要なもの (呼吸機能・循環機能)		
10	8 子孫を残す(生殖機能)		
11	9 血圧を調節するもの (水分調節・神経機能)		
12	10 血糖を調節するもの (吸収機能・代謝機能)		
13	など、人体の恒常性を維持し、生活行動のための人体形態		
14	機能についてグループワークをしながら学ぶ。		
15			

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院
つなげてみたらスルスルわかる! 生化学・生理学・解剖学 学研プラス

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 生化学	第一看護学科 1年次 前期 1単位（30時間）
-----------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい 人体の構成成分である化学物質の性状、その分布および代謝について学ぶ。
目 標 1) 人体を構成するための材料や生命維持や活動の源となる栄養素を人体に取り込む過程を理解できる。 2) 体内で行われる代謝の働きについて知り、そこで取り扱われる物質と化学反応の性質を理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備 考
1	代謝総論、細胞の構造と機能	講義	
2	糖類と脂質		
3	アミノ酸とタンパク質、核酸、ビタミン		
4	遺伝情報、複製、転写、翻訳		
5	先天性代謝異常、酵素		
6	糖代謝（1）		
7	糖代謝（2）		
8	脂質代謝（1）		
9	脂質代謝（2）		
10	タンパク質とアミノ酸の代謝（1）		
11	タンパク質とアミノ酸の代謝（2）		
12	核酸・ヌクレオチド代謝		
13	エネルギー代謝の統合と制御		
14	生体物質・酵素・遺伝情報と発現		
15	生体にかける代謝の全体像		

III. 使用テキスト・参考文献

ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能 ②臨床生化学 メディカ出版

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 栄養学

第一看護学科

1年次 前期

1単位 (15時間)

I. 授業のねらい・目標

ねらい

栄養状態の査定の知識を学び、食事療法の基本を学ぶ。

目 標

- 1) 生体が発育・成長して生命を維持し、健全な生命活動を営むために、体外から取り入れるべき栄養素の種類と働きを理解できる。
- 2) 必要な栄養素が不足することでおこる生体への影響を知り、食生活にかかわる問題解決に取り組む手段を考えることができる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	人間栄養学と看護 栄養ケア・マネジメント	講義	
2	栄養状態の評価・判定		
3	栄養素の種類と働き		
4	栄養素の消化と吸収 体内代謝		
5	エネルギー代謝 食事と食品		
6	ライフステージと栄養		
7	臨床栄養 健康づくりと食生活		
8	まとめ		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 人体の構造と機能 [3] 栄養学 医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 薬理学	第一看護学科 1年次 後期 1単位（15時間）
-----------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

<p>ねらい</p> <p>薬物の特徴、作用機序、人体への影響及び薬物管理について学ぶ。</p> <p>目 標</p> <p>1) 薬物療法で用いる薬物の特徴や薬物動態について知り、その効果に影響する生体及び個人的因子とその反応を理解できる。</p> <p>2) 生体各器官に特異的に効果を発揮する薬物について、それぞれの作用機序とその効果について理解できる。</p> <p>3) 薬物の取扱いについて、法的根拠と薬物の特性に応じた管理方法について理解できる。</p>
--

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	薬理学総論 1 (薬と法律、薬物療法における看護師の役割、看護業務に必要な薬の知識)	講義	
2	薬理学総論 2 (薬力学・薬物動態学・薬物相互作用)		
3	抗感染症薬・抗がん薬		
4	免疫治療薬・抗アレルギー薬・抗炎症薬		
5	中枢神経系、末梢神経系に作用する薬物		
6	循環器・呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬物		
7	物質代謝に作用する薬物・皮膚科用薬・眼科用薬		
8	救急の際に使用される薬物 (45分)		

III. 使用テキスト・参考文献

<p>系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[3]薬理学 医学書院</p>
--

IV. 成績評価の方法

<p>筆記試験、提出物 等</p>

授業科目名 病理学

第一看護学科

1年次 後期

1単位（30時間）

I. 授業のねらい・目標

ねらい

病因と病変の特徴について学ぶ。

目 標

- 1) 病気によってもたらされる生体の器官・組織・細胞の特徴的な変化を知り、病気の原因や成り立ち、発生機序を理解できる。
- 2) 主な疾患による生体の特徴的な変化を知り、病態や治療の科学的根拠を理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	病理学概論	講義	
2	細胞・組織の損傷と修復、炎症		
3	免疫と免疫不全		
4	アレルギー疾患と再生医療炎症と免疫		
5	感染症		
6	循環障害		
7	代謝障害		
8	老化と死		
9	先天異常と遺伝性疾患		
10	先天異常と遺伝性疾患		
11	腫瘍（1）		
12	腫瘍（2）		
13	腫瘍（3）		
14	腫瘍（4）		
15	まとめ		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[1]病理学 医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 微生物学	第一看護学科
	1年次 前期
	1単位 (15時間)

I. 授業のねらい・目標

ねらい

微生物の特徴と生体に及ぼす影響を学ぶ。

目 標

- 1) 地球上に存在している微生物の種類や特徴を知り、自然界において微生物と他の生物との関係性について考えることができる。
- 2) ヒトに病気を起こす病原微生物の種類とそのメカニズムを知り、感染症の診断や治療、予防法を理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	微生物学総論 (歴史、微生物学を学ぶ意義、感染症の原因になりうる微生物とその特徴)	講義	
2	感染と免疫、滅菌と消毒、感染予防		
3	細菌学1		
4	細菌学2		
5	ウイルス学1		
6	ウイルス学2		
7	真菌学、原虫学、抗菌物質と薬剤耐性について		
8	まとめ (45分)		

III. 使用テキスト・参考文献

ビジュアル微生物学 ヌーヴェルヒロカワ

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 診断治療学 I (消化器・運動器)	第一看護学科 1年次 後期 1単位 (30時間)
----------------------------	--------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい 消化器系、骨・筋系の主な疾患の病態、治療、検査及び処置について学ぶ。
目 標
1) 主な消化器疾患、運動器疾患について、疾患の原因・誘因や病態とその経過を理解できる。
2) 主な消化器疾患、運動器疾患について、治療や検査及び処置の目的や方法を理解できる。
3) 消化器疾患や運動器疾患への最近の医療の動向を知り、患者への身体的・心理的・社会的影響を考えることができる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	消化器系の構造と機能	講義	
2	消化機能障害の症状と病態生理		
3	消化器 診察と検査		
4	消化器 治療		
5	食道・胃・腸の疾患 (炎症性疾患、潰瘍性疾患、腫瘍、イレウス、排便障害)		
6	腹壁・腹膜疾患 (ヘルニア、腹膜炎)		
7	肝臓・胆嚢・膵臓の疾患 (炎症性疾患、肝硬変、腫瘍)		
8	肝臓・胆嚢・膵臓の疾患 (脂肪肝、アルコール性肝炎、胆石症)		
9	運動機能障害の症状と病態生理	講義	
10	診断・検査と治療・処置		
11	疾患の理解① — 骨折 骨粗鬆症 他		
12	疾患の理解② — 変形性関節症 他		
13	疾患の理解③ — 上下肢の疾患 他		
14	疾患の理解④ — 腰椎症 他		
15	感染症 感染症の病態、検査、治療	講義	

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [5] 消化器 医学書院
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [10] 運動器 医学書院
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [11] 感染症 医学書院
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 診断治療学Ⅱ (呼吸器・循環器・膠原病)	第一看護学科 1年次 後期 1単位(30時間)
-------------------------------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい 循環器系、呼吸器系、膠原病・難病・アレルギーの主な疾患の病態、治療、検査及び処置について学ぶ。
目 標
1) 主な循環器疾患、呼吸器疾患、膠原病・難病・アレルギー疾患について、疾患の原因・誘因や病態とその経過を理解できる。
2) 主な循環器疾患、呼吸器疾患、膠原病・難病・アレルギー疾患について、治療や検査及び処置の目的や方法を理解できる。
3) 循環器疾患や呼吸器疾患、膠原病・難病・アレルギー疾患の最近の医療の動向を知り、患者への身体的・心理的・社会的影響を考えることができる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容		講義・演習	備考
1	循 環 器	循環機能障害の症状と病態生理、検査	講義	
2		心不全		
3		不整脈		
4		弁膜症、先天性心疾患		
5		高血圧、動脈硬化		
6		虚血性心疾患		
7	呼 吸 器	呼吸器学総論	講義	
8		呼吸器感染症、喘息		
9		慢性閉塞性肺疾患 (COPD)		
10		肺循環疾患		
11		肺腫瘍		
12		その他の呼吸器疾患		
13	膠 原 病 難 病	膠原病総論	講義	
14		膠原病各論		
15	ア レ ル ギ ー	免疫・アレルギー総論・各論	講義	

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [3] 循環器	医学書院
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [2] 呼吸器	医学書院
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [11] アレルギー・膠原病・感染症	医学書院
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学	医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 診断治療学Ⅲ (血液・腎・泌尿器・生殖器・内分泌)	第一看護学科 1年次 後期 1単位(30時間)
------------------------------------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい 血液、腎・泌尿器系、生殖器・内分泌系の主な疾患の病態、治療、検査及び処置について学ぶ。
目 標 1) 主な血液、腎・泌尿器系、生殖器・内分泌系の疾患について、疾患の原因・誘因や病態とその経過を理解できる。 2) 主な血液、腎・泌尿器系、生殖器・内分泌系の疾患について、治療や検査及び処置の目的や方法を理解できる。 3) 血液、腎・泌尿器系、生殖器・内分泌系の疾患の最近の医療の動向を知り、患者への身体的・心理的・社会的影響を考えることができる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容		講義・演習	備考
1	内 分 泌	内分泌器官の機能障害による症状と病態生理、検査	講義	
2		下垂体疾患		
3		甲状腺・副甲状腺・副腎疾患		
4		糖尿病		
5		代謝疾患		
6	血 液	血液の成分と機能	講義	
7		血液疾患による症候とその病態生理(貧血、白血病、悪性リンパ腫)		
8		血液疾患による症状とその病態生理(多発性骨髄腫、輸血)		
9		血液疾患による症候とその病態生理(感染症、出血性疾患)		
10	腎 臓 / 泌 尿 器	腎・泌尿器の構造と機能	講義	
11		排泄機能障害の症状とその病態生理、検査		
12		尿路先天異常・感染症・尿路結石		
13		その他の良性疾患・慢性腎不全		
14	女 性 生 殖 器	生殖機能をつかさどる器官の障害の症状とその病態生理、検査	講義	
15		外陰部疾患、陰疾患、子宮疾患、卵管疾患、卵巣疾患 骨盤疾患、乳房疾患、月経異常、更年期障害		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 [6]	内分泌・代謝	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 [4]	血液・造血器	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 [8]	腎・泌尿器	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 [9]	女性生殖器	医学書院
系統看護学講座	専門基礎分野	人体の構造と機能 [1]	解剖生理学	医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 診断治療学Ⅳ (脳神経・感覚器)	第一看護学科 1年次 後期 1単位 (30時間)
---------------------------	--------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい

脳神経系、感覚器系の主な疾患の病態、治療、検査及び処置について学ぶ。

目 標

- 1) 主な脳神経系、感覚器系の疾患について、疾患の原因・誘因や病態とその経過を理解できる。
- 2) 脳神経系、感覚器系の疾患について、治療や検査及び処置の目的や方法を理解できる。
- 3) 脳神経系、感覚器系の疾患の最近の医療の動向を知り、患者への身体的・心理的・社会的影響を考えることができる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容		講義・演習	備 考
1	脳 神 経	脳の解剖と機能	講義	
2		脳機能の異常と症状		
3		脳神経診察、検査、治療		
4		脳疾患		
5		脳疾患		
6		脊髄、末梢神経疾患		
7		感染症、中毒、てんかん		
8		神経筋疾患、変性疾患、認知症		
9	耳 鼻 咽 喉	症状とその病態生理、検査と治療	講義	
10		疾患の理解 (炎症性疾患、腫瘍)		
11		疾患の理解 (難聴、メニエール病、臭覚・味覚障害)		
12	眼	眼と付属器の症状とその病態生理、検査と治療	講義	
13		疾患の理解 (白内障、緑内障、網膜剥離、網膜症)		
14	皮 膚	症状とその病態生理、検査と治療	講義	
15		疾患の理解 (湿疹、アトピー性皮膚炎、带状疱疹、疥癬蜂窩織炎)		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [7] 脳・神経 医学書院
 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [12] 皮膚 医学書院
 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [13] 眼 医学書院
 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [14] 耳鼻咽喉 医学書院
 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 診断治療学 V (放射線・リハビリ)	第一看護学科 1年次 前期 1単位 (30時間)
-----------------------------	--------------------------------

I. 授業のねらい・目標

<p>ねらい</p> <p>現代医療に必要不可欠な画像診断や放射線治療といった放射線医学や高齢化や障害を抱える人々の生活の質を高めるためのリハビリテーション医療の基礎的知識を学び、チーム医療における役割を理解する。</p> <p>目 標</p> <p>1) 放射線医学の成り立ちと意義を知り、画像診断や放射線治療の種類やその方法を知ることができる。</p> <p>2) 放射線検査の種類とその方法、使用する薬剤の作用・副作用を理解して、患者が安全かつ正確な診断結果につながるよう支援する方法を学ぶことができる。</p> <p>3) 放射線治療の内容や想定される治療効果や合併症を学び、看護のあり方を学ぶことができる。</p> <p>4) リハビリテーションの概念を学び、看護のあり方を学ぶことができる。</p>

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考	
1	放射線医学	講義		
2				放射線医学総論 (診断、IVR、治療)
3				X線診断、CT
4				MRI、US
5				放射線防護
6				核医学
7				血管造影、IVR
8	リハビリテーション	講義		
9				放射線治療
10				リハビリテーション概論
11				循環器系の障害とリハビリテーション
12				中枢神経系の障害とリハビリテーション
13				呼吸器系の障害とリハビリテーション
14		高齢者のリハビリテーション		
15		運動器系の障害とリハビリテーション (起居動作・関節可動域)		演習
16	摂食・嚥下のリハビリテーション	講義		
17	口腔ケア・リハビリ・食事の援助	演習		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院
--

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 保健医療論	第一看護学科 1年次 前期 1単位 (15時間)
-------------	--------------------------------

I. 授業のねらい・目標

<p>ねらい</p> <p>現代の保健・医療・福祉の抱えている問題点とその背景を知り、専門職として幅広い視野を持ち、病と健康に関する多くの学問が相互につながっていることを理解し認識を深める。</p> <p>目 標</p> <p>1) 医療の歩みと医療観の変遷を知り、医療と看護の原点となる人々の命や病と健康の考え方を理解することができる。</p> <p>2) 人々の生活と健康をまもる保健・医療・福祉のあり方や現代医療の新たな課題を知り、看護師の役割を考えることができる。</p>
--

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	医療と看護の原点	講義	
2	医療の歩みと医療観の変遷		
3	私たちの生活と健康		
4	科学技術の進歩と現代医療の最前線		
5	現代医学の新たな課題		
6	医療を見つめ直す新しい視点		
7	保健・医療・福祉の潮流		
8	まとめ (45分)		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 別巻 総合医療論 医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等
